

吹田市文化会館（メイシアター）指定管理者候補者選定委員会 議事概要

1 開催日時 令和7年9月12日（金）13:30 開会、15:30 閉会

2 開催場所 吹田市文化会館（メイシアター）第1会議室

3 出席委員

	委員氏名	役職等
委員長	橋本 行史	大阪観光大学 観光学部 教授
副委員長	串崎 幸代	千里金蘭大学 教育学部教育学科 教授
委員	大谷 羊子	脚本・演出家 吹田市内での演劇指導
委員	柳瀬 真佐子	NPO 法人市民ネットすいた理事長
委員	目加田 純一	近畿税理士会吹田支部

4 次第

- (1) 開会あいさつ
- (2) 委員長及び副委員長の選任
- (3) 諮問
- (4) 第三者モニタリングについて
 - ア モニタリング評価方法及び基準の確認
 - イ 市の評価に対する確認
 - ウ 非公募で選定した指定管理者による管理の妥当性に係る評価方法及び基準の確認
- (5) 施設見学（SUITA×ART等）
- (6) 閉会

5 議事要旨

発言者	議事要旨
事務局	(開会あいさつ) (委員長及び副委員長の選任) (資料の確認)
事務局	今回は、資料2-1（通常モニタリング用）と資料3-1（非公募妥当性確認用）の2つの評価シートがある。 令和4年度に行われた包括外部監査にて、非公募で指定管理者を選定している施設について「施設の設置目的を達成する団体であるかを合理的に判断するための選定プロセスの改善が望まれる。」という参考意見があった。 これを踏まえて、指定管理の2年目と4年目に行っているモニタリングのうち、次の選定の直前である4年目に非公募の妥当性の確認をする旨が吹田市指定管理者ガイドラインに記載された。 このことから、通常のモニタリングに加えて「次も非公募で選定して差し支えないか」のチェックもしていただきたい。
事務局	(4次第(4)ア「モニタリング評価方法及び基準の確認」資料説明)
委員長	先ほどの説明内容の要点は、 通常モニタリング用の評価シートの「4 その他(1)市の施策に沿っ

	た運営」の項目は非公募妥当性確認用の評価シートの項目と重複するため削除した。従来は1日で行っていたが、2日に分けて行うこととなった、ということである。
事務局	(4次第(4)イ「市の評価に対する確認」資料説明)
委員長	参考資料1-2の「4 利用者ニーズの把握状況」について、最近は聞き取りやアンケートの他に SNS などもあるがどのように行っているか。
事務局	詳しくは指定管理者へヒアリングしていただいた方が良いが、最近ではインスタグラム開設やHPリニューアルなど、インターネットを使った利用者のサービス向上に取り組んでいると聞いている。
委員長	自主事業が少ないという話がよく出るが、市の評価において自主事業はどこで評価しているか。予算的な話は参考資料に載っているかと思うが。
事務局	自主事業に特化した評価項目はない。 詳細については質問書等を活用の上、2回目に指定管理者に確認していただきたい。
D 委員	参考資料1-2について、令和5年度分から令和6年度分に差し替えとのことだが、令和5年度と令和6年度を比較して数字が大きく変わっている要因は何か。
事務局	吹田市から指定管理者に委託している事業の委託料を、本来であれば収入に含めなければいけなかったが抜けてしまっていたため、正しい金額に修正した。
事務局	(4次第(4)ウ「非公募で選定した指定管理者による管理の妥当性に係る評価方法及び基準の確認」資料説明)
委員長	質問はあるか。 質問シートの記入は必須か。
事務局	必須ではない。質問があれば記入いただきたい。
B 委員	メールで提出すればよいか。期限はいつまでか。
事務局	メールで提出いただきたい。第2回のモニタリングまでに提出いただきたい。
委員長	管理運営の適格性は通常のモニタリングで評価していたが、非公募で選定する適格性の審査があるのではという意見が包括外部監査で出たとのこと。 そもそもモニタリングそのものが難しい。市が行っていた業務を指定管理者に委託することで、はじめは市の管理と指定管理者の管理を比較することで評価ができるが、いったん移ってしまったものを誰と比べて評価するかが難しい。 結局よくやっている、やっていないという評価にならざるを得ないことは、現在の評価体制の若干の問題点である。 本来は誰かと比較する、何かと比較することで評価することができるが、比較するものがない。主観で評価をせざるを得ないが、それでは説得性が無いので点数評価にして客観性を持たせなければならない。 今回の評価は基準が75点と示されているため、そのあたりを意識して委員の皆様には評価をしていただきたいと理解している。
B 委員	出された数字で評価するしかない。他の館と比べるなどできればまだ評価しやすいが、それも難しい。
委員長	わかりやすいのは、赤字が出ているかどうか。 もう一つは他の団体と比べて頑張っているのか、頑張っていないのかという点。だが、条件が異なるので比べにくい。これについて事務局と

	<p>して意見はあるか。</p>
事務局	<p>文化の分野は数字での比較が難しい。数字だけでは判断できない部分について、評価シート（非公募妥当性確認用）の「第2次吹田市文化振興基本計画に基づく文化施策への貢献」で、基本計画の中で市が重視していることを評価項目としている。</p> <p>非公募で指定管理者を選定する理由のひとつとして、基本計画「Ⅱ文化を未来へつなぐ」ということがある。</p> <p>もし5年ごとに指定管理者が変われば、地域と連携して継続的に事業を行っていくことが難しい。また、子どもを対象とする事業については大きな利益が見込めるわけではないので、仕様書に記載していても、営利目的の業者が力を入れて質の高い事業を行うのかは疑問が残る。</p> <p>現在、営利を目的としていない公益財団という形で、非公募としている理由は、地域の団体や大学と連携し、色々な取組を継続することにより、吹田の文化振興の向上を図るといふねらいがある。</p> <p>市が指定管理者に期待していることを評価シートのチェックポイントに入れている。</p> <p>評価項目「文化芸術を支える人材の育成 文化・芸術の担い手や支え手への育ち」、評価基準「将来のアーティスト育成の取組」、チェックポイント「将来有望な地元のアーティストの発掘や育成を継続的に実施できているか」について、例えば、将来の俳優やピアニストの卵のような人たちの活躍の場を作れているかなどについては、数値で計るのは難しいが、公募で実施している他市町村と比較したり、指定管理者から提出させる資料3-2「指定管理者の実績記入シート」などで、どんなねらいで何をしているかを確認いただいたうえで点数をつけるというイメージで案を作成した。</p>
委員長	<p>財団という組織そのものに継続性があり、文化をつなぐ効力が高いと思われるが、それ自体を評価基準にするわけにはいかない。実際そこで活動している内容についてピックアップし、それについてデータを出していただいて、評価していただくのはどうか、という説明と理解した。</p> <p>他に質問はあるか。</p>
B 委員	<p>指定管理者への内容の確認は次回行うのか。</p>
事務局	<p>次回行う。</p> <p>今回は、非公募の確認の評価基準を確認いただく場である。次回は指定管理者が提出する実績記入シートや、委員の質問に対する回答に加え、指定管理者に委員から質問していただくことを想定している。</p>
委員長	<p>非公募が良いのかどうか答えも出ていないので、これが完成形ではない。ただ、継続性の観点や、非営利でも続けられるかなどを考えた場合、非公募は総合的に有利なのではないかと思う。</p> <p>もし不十分であれば、「今後期待される点やその他特記事項」に比較的自由に書かせていただければと思う。示された評価方法や基準に異議はないか。</p> <p><一同異議なし></p> <p>異議なしなので、「非公募で選定した指定管理者による管理の妥当性確認に係る評価方法及び基準の確認」については確認した。</p>
	<p>(次第(5) 施設見学)</p> <p>(閉会あいさつ)</p>